

保 育 科

保 育 科 教 育 課 程 表

2025年度入学者適用

区分	必修科目		授業科目	履修単 位数	卒業 単位数	学年配分 1年次 2年次 前期 後期	科目ナンバ リング			
	卒 業 保 護	英 語 保 護								
基 礎 教 育	①	②	英語 I	1	1		MR110001			
			保育の英語 I	1	1	○	MR320111			
			韓国語 I	1	1		MR110002			
			韓国語 II	1	1	○	MR320122			
			ポルトガル語 I	1	1		MR110003			
			ポルトガル語 II	1	1	○	MR320123			
			中国語 I	1	1	○	MR110004			
			中国語 II	1	1	○	MR320124			
			① スポーツ I	1	1	●	MR100005			
			専門 教 育 科 目	②	③	① スポーツ健康論	1	1	○	MR110006
② 情報処理演習Ⅰ	2	2				○	MR110007			
③ 情報処理演習Ⅱ	2	2				○	MR320150			
④ 日本国憲法	2	2				○	MR120008			
⑤ 日本語表現	2	2					MR100020			
⑥ 教養数学	2	2				○	MR120021			
他学科開放指定科目(※2)				6	6	○	○	○	○	○
小 計				26	2	24	10単位以上修得すること			

専 門 教 育 科 目	①	② 保育原理	2	2	2	○		MR114111
		② 教育原理	2	2	2	○		MR114122
		② 子ども家庭福祉	2	2	2	○		MR112111
		② 社会福祉	2	2	2	○	○	MR322111
		② 子ども家庭支援論	2	2	2		○	MR122112
		② 社会的養護Ⅰ	2	2	2	○		MR122222
		① 社会の養護Ⅱ	1	1	1	○		MR122311
		② 保育者論	2	2	2	○		MR114211
		② 教育関係法規	2	2	2		○	MR243111
		② 教育の心理学	2	2	2		○	MR112123
		① 特別支援教育論	1	1	1	○		MR112241
		① ① 幼児理解の理論と方法	1	1	1	○	○	MR223141
		① ① 幼児教育相談	1	1	1		○	MR223212
		② 子ども家庭支援の心理学	2	2	2		○	MR122323
		② 子どもの保健	2	2	2		○	MR131111
		② ② 子どもの食と栄養	2	2	2	○	○	MR323111
		② 保育カリキュラム論	2	2	2		○	MR243111
		② ② 保育内容総論	2	2	2		○	MR243111
② ② 保育内容指導法「生活と健康」	2	2	2		○	MR223111		
① ① 保育内容指導法「生活と人間関係」	1	1	1		○	MR223115		
① ① 保育内容指導法「生活と健康」	1	1	1		○	MR223116		
① ① 保育内容指導法「生活と健康」	1	1	1		○	MR213117		
① ① 保育内容指導法「生活と健康」	1	1	1		○	MR213118		

区分	必修科目		授業科目		開講 講座	必 修 単 位	他 専 修 単 位 数	学年配分			科目ナンバ ー
	卒 幼	保	①	②				1年	2年	後	
								前	後		
専 修		②	幼児教育指導法	2	2			○			MO1143122
	教育実習Ⅰ (事前・事後指導)	②	子どもと健康Ⅰ	2	2				○		MO1121212
		①	子どもと人間関係Ⅰ	1	1					○	MO1221311
		①	子どもと環境Ⅰ	1	1					○	MO1221214
		①	子どもと音楽Ⅰ	1	1					○	MO1121215
		①	子どもと表現Ⅰ	1	1					○	MO1121216
		②	保育の音楽Ⅰ	2	2				○		MO1111312
		②	保育の音楽Ⅱ	2	2						MO1121218
		②	子どもと音楽表現Ⅱ	2	2						MO1121219
		②	子どもと造形表現Ⅱ	2	2				○		MO1111322
こ 児	①	②	子どもと造形表現Ⅰ	2	2						MO1121219
		①	子どもと健康Ⅱ	1	1					○	MO1221212
		②	児童文化Ⅱ	2	2						MO1221422
		②	音楽劇Ⅱ	2	2						MO1221432
		①	音楽Ⅱ	1	1						MO1234411
		②	私たちの地球について考える	2	2						MO1113132
	②	②	乳児保育Ⅰ	2	2				○		MO1231222
		②	乳児保育Ⅱ	1	1						MO1232131
		①	子どもの健康と安全Ⅰ	1	1					○	MO1123211
		②	障害児保育Ⅱ	2	2						MO1232132
②		海外の保育と英語(英訳)	2	2					○	MO1263112	
育			インクルージョン保育の理論と方法Ⅰ	1	1						MO1231311
			多文化共生保育Ⅰ	1	1				○		MO1231221
			病児保育と救急法Ⅰ	1	1				○		MO1113191
			保育実践探究入門Ⅰ	1	1						MO1222021
	①	①	教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	1	1	1			○		MO1151111
	①	①	教育実習Ⅱ(事前・事後指導)	1	1	1					MO1151112
	①	①	教育実習Ⅰ	1	1	1			○		MO1052111
	③	③	教育実習Ⅱ	3	3						MO1254113
		①	保育実習ⅠA(事前・事後指導)	1	1				○		MO1251121
		①	保育実習ⅠB(事前・事後指導)	1	1						MO1251122
科		①	保育実習Ⅱ(事前・事後指導)	1	1						MO1253111
		②	保育実習Ⅰ(保育所施設)	2	2						MO1531222
		②	保育実習Ⅰ(児童福祉施設)	2	2						MO1252122
		②	保育実習Ⅱ	2	2					○	MO1254122
	②	②	保育基礎演習Ⅰ	2	2	2			○		MO1171112
	②	②	保育基礎演習Ⅱ	2	2	2				○	MO1272112
	②	②	保育実践演習Ⅰ	2	2	2				○	MO1273112
	②	②	保育実践演習Ⅱ	2	2	2				○	MO1274112
	②	②	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	2	2					MO1224112
	目	小	計	100	20	81				55	
総		計	単	位	数	122	22	105			65

注 意 事 項

1. 外国語のⅡを履修する場合はその科目のⅠの単位を履修していること。
子ども造形表現Ⅱを履修する場合はその科目のⅠの単位を修得していること。
2. 学科科目開放指定科目は、6単位を限度として英語コミュニケーション学科、現代教養学科が指定する授業科目と桜花学園大学で科目等履修生として修得した科目を基礎教育科目の卒業要件にできる。
3. イングルス保育の理論と方法、多文化共生保育は隔年開講とする。

1. 各要件共通
○数字は必修 ●印は選択
2. 卒業要件
○印を含め65単位以上修得すること。
3. 幼2種免要件
上記※3 の科目から4単位以上修得すること。
4. 保育士資格要件
上記※1 の科目のうち2科目以上修得すること。

保育科DPと科目の対応表

教育課程	卒業	HDP1	HDP2	HDP3	HD4
保 育 の 英 語		◎			
保 育 の 英 語	○	◎			
健 国 語			◎		
健 国 語			◎		
ポ ル ト ガ ル 語			◎		
ポ ル ト ガ ル 語			◎		
中 国 語			◎		
中 国 語			◎		
ス ポ ー ツ			◎		○
ス ポ ー ツ 健 康 論			◎		○
情 報 処 理 演 習			◎		
情 報 処 理 演 習			◎		
日 本 国 語 法			◎		○
異 文 化 研 究			◎		
日 本 語 表 現	必		◎		
数 学			◎		
数 学 原 理	必	◎	◎		
保 育 原 理	必	◎	◎		
教 育 原 理	必	◎	◎		
子 ども 家 庭 福 祉	選 必	◎	◎		
社 会 福 祉		◎	◎		
子 ども 家 庭 支 援 論		◎	◎		
社 会 的 養 護		◎	◎		
保 育 者		◎	◎		
教 育 関 係 法 規		◎	◎		
保 育 の 心 理 学		◎	◎		
情 報 支 援 教 育 論	選 必	◎	◎		
幼 児 理 解 の 理 論 と 方 法		◎	◎		
幼 児 教 育 相 談		◎	◎		
子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学		◎	◎		
子 ども の 保 健		◎	◎		○
子 ども の 食 と 栄 養	必	◎	◎		○
保 育 内 容 総 論	必	◎	◎		◎
保 育 内 容 総 論	必	◎	◎		◎
保 育 内 容 指 導 法「生活と人間関係」		◎	◎		◎
保 育 内 容 指 導 法「生活と環境」		◎	◎		◎
保 育 内 容 指 導 法「生活と言葉」		◎	◎		◎
保 育 内 容 指 導 法「生活と表現」		◎	◎		◎
幼 児 教 育 指 導 法		◎		◎	

教育課程	卒業	HDP1	HDP2	HDP3	HD4
子 ども と 健 康		◎			○
子 ども と 人 間 関 係		◎			
子 ども と 環 境	選 必	◎			
子 ども と 言 葉		◎			
子 ども と 音 楽		◎			
保 育 の 音 楽		◎			
保 育 の 音 楽		◎			
子 ども と 音 楽 表 現		◎			
子 ども と 造 形 表 現	選 必	◎			○
子 ども と 造 形 表 現		◎			
子 ども と 健 康		◎	◎		
兄 弟 文 化		◎	◎		
音 楽		◎			◎
食		◎			◎
私 たち の 地 球 に つ い て 考 え る		◎			◎
乳 児 保 育		◎	◎		◎
乳 児 保 育		◎	◎		◎
子 ども の 健 康 と 安 全		◎			
障 害 児 保 育		◎	◎		
海 外 の 保 育 と 英 語		◎	◎		
インクルージョン保育の理論と方法		◎			◎
多 文 化 共 生 保 育		◎			◎
病 児 保 育 と 救 命 法		◎	○		
保 育 実 践 探 求 入 門		◎	○		
教 育 実 習 I (事前・事後指導)	必	◎	◎		
教 育 実 習 II (事前・事後指導)		◎	◎		
教 育 実 習 I	必	◎	◎		◎
教 育 実 習 II		◎	◎		◎
保 育 実 習 I A (事前・事後指導)		◎	◎		
保 育 実 習 I B (事前・事後指導)		◎	◎		
保 育 実 習 II (事前・事後指導)		◎	◎		
保 育 実 習 I (保 育 所)		◎	◎		◎
保 育 実 習 I (児 童 福 祉 施 設)		◎	◎		◎
保 育 実 習 II		◎	◎		◎
保 育 基 礎 演 習 I	必	◎	◎		◎
保 育 基 礎 演 習 II	必	◎	◎		◎
保 育 実 践 演 習 I	必	◎	◎		◎
保 育 実 践 演 習 II	必	◎	◎		◎
保 育 実 践 演 習 III	必	◎	◎		◎
保 育・教 育 実 践 演 習 (幼稚園)	必	◎	◎	◎	◎

HDP1.【知識・技能】保育と保育者の本質について理解する。①

HDP2.【行動力】豊かな人間性を備え、自己実現や社会貢献に向けて主体的に行動する。③

HDP3.【省察力】自らの保育実践を振り返り、改善しようとする。②③

HDP4.【倫理性】課題解決に向けて、社会の中でさまざまな人と連携、協働する。③

◎：強く関係する

○：関係する

ローパル化に対応した
リーダーシップを発揮で
来る者

	H0	H1	H2	H3	H4	SI	S2	S3
0	教養	英語Ⅰ (1000番台)	英語Ⅱ	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	修士の学位に相当し、また保育や教育に関する基礎的な知識を身に付ける科目
		英語Ⅲ	英語Ⅳ	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	国際関係(系列)の基礎的知識を身に付ける科目	修士の学位に相当し、また保育や教育に関する基礎的な知識を身に付ける科目
1	保健の内容・方法	保健の基礎知識	子どもの発達と安全な保育	保健の基礎知識	保健の基礎知識	保健の基礎知識	保健の基礎知識	保健の基礎知識
		保健の基礎知識	子どもの発達と安全な保育	保健の基礎知識	保健の基礎知識	保健の基礎知識	保健の基礎知識	保健の基礎知識
2	福祉・心理学・子育て支援	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育
		子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育
3	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育
		子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育	子どもの発達と安全な保育
4	保育学・教職	保育学Ⅰ	保育学Ⅱ	保育学Ⅲ	保育学Ⅳ	保育学Ⅴ	保育学Ⅵ	保育学Ⅶ
		保育学Ⅰ	保育学Ⅱ	保育学Ⅲ	保育学Ⅳ	保育学Ⅴ	保育学Ⅵ	保育学Ⅶ
5	実習	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅲ	保育実習Ⅳ	保育実習Ⅴ	保育実習Ⅵ	保育実習Ⅶ
		保育実習Ⅰ	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅲ	保育実習Ⅳ	保育実習Ⅴ	保育実習Ⅵ	保育実習Ⅶ
6	海外の保育	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ
		英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ
7	ゼミ	ゼミⅠ	ゼミⅡ	ゼミⅢ	ゼミⅣ	ゼミⅤ	ゼミⅥ	ゼミⅦ
		ゼミⅠ	ゼミⅡ	ゼミⅢ	ゼミⅣ	ゼミⅤ	ゼミⅥ	ゼミⅦ

I. 保育科の学び

保育者は未来を生きる子どもたちを育てるという、とても大きな社会的使命を担っています。では、保育者になるために、皆さんは何を学ぶことが必要なのでしょう。

一言で言ってしまうと、それは「皆さんを人間として成長させるための、ありとあらゆること」になります。より良い保育者となるには、単に保育の技術だけ修めればよいということにはなりません。子どもの成長を導き、その可能性を開かせるためには、豊かな知識や感性、技術などを用い、様々な面からアプローチすることが必要です。

したがって、皆さん自身が、人間として豊かに成長し続けること——それこそが、この名古屋短期大学保育科で成し遂げてもらいたい大きな目標です。保育科のカリキュラムはこの目標達成に向かって構成されています。では、具体的にどのようなカリキュラムになっているのでしょうか。

II. カリキュラムの特色

名古屋短期大学保育科のカリキュラムは、2年間を通して上記の目標を達成しつつ、保育士資格と幼稚園教諭2種免許状を取得できるように構成されています。カリキュラム内の科目は、大きく「基礎教育科目」と「専門教育科目」に分かれています（保育科教育課程表を参照してください）。

またそれぞれの科目は8つの領域に分類され、皆さんの総合的な成長のための学習を体系的に提供しています。以下、8つの領域について、それぞれ見ていきましょう（履修系統図（カリキュラムツリー）も参照してください）。

0. 教養

日々変化している現代社会に対する理解を深めるとともに、そのような社会で必要となる基礎的な事項について学ぶことを目標とした科目です。外国語をはじめ、多彩なジャンルの科目を設定しています。保育の専門的な学修と合わせて、豊かな人間性を形成するためにどれも重要な科目です。上述した「基礎教育科目」がこれに該当します。

1. 保育の内容・方法

保育においては、子どもの活動が大きな意味を持っています。子どもの活動は発達の源です。子どもたちのどのような活動を、どのように引き出し、援助していけばよいでしょうか。「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の保育の五領域とその指導法を中心に学んでいきます。

2. 福祉・心理学・子育て支援

保育者は子どもの健全な育成を担う存在です。子どもの心理や発達について学ぶことはもちろん、子ども福祉の意義や役割・現代における制度を学んでいきます。子どもが様々な家庭環境に置か

れていることを理解し、それぞれの状況に合った支援の方法についても考えていきます。

3. 子どもの保健と安全・乳児保育

子どもの安全を守ることは保育者の大きな役割です。乳児期の発達や、子どもの発育に必要な栄養についての知識、そして子どもの心身の健康状態や疾病について学びます。保育現場での事故防止や安全対策、緊急時における対応等についても考えます。

4. 保育学・教職

「保育」や「教育」の意義・目的を理解し、それらを支える制度について十分な知識を持っていることは保育者にとって必要なことです。そのような知識に基づいて、子どものよりよい成長のための適切な指導を計画できるように学んでいきます。

5. 実習

大学内での講義や演習に加え、保育者になるためには現場での実践を通して学ぶことが大切です。子どもの姿や現場の保育者から豊かな問題意識を吸収するだけでなく、自らの課題についても積極的に探求し、さらなる学習へと繋げていきましょう。

6. 海外の保育

グローバル化の波は保育の世界にも押し寄せています。諸外国の文化や保育について学び、また多国籍の子どもが共生する中での保育の方法などについても学びます。「0. 教養」の領域の中の外国語科目や「保育の英語」もこの領域に関連します。

7. ゼミナール

ゼミナールは特定のテーマについて少人数で研究・報告・討論などを行う形式の授業です。保育科では保育学生および社会人として必要な態度や感性を身につけること、集団における協力意識を高めること、研究を実践する能力を養うことをゼミナールの目的としています。

Ⅲ. 履修計画のために

保育科のカリキュラムは、保育士資格と幼稚園教諭2種免許状を取得できるように構成されています。資格や免許の取得には所定の科目を履修して単位を修得することが必要になります。授業の履修にあたっては「卒業に必要な単位」「保育士資格取得に必要な単位」「幼稚園教諭2種免許状取得に必要な単位」に注意することが必要です。

大学での学習に対する評価は絶対評価が基本です。皆さん自身が努力をすれば必ずそれにふさわしい評価が得られます。ただし、評価だけにとらわれるのではなく、何のために学ぶのかということを常に意識しながら学習活動を行うようにしてください。それは自らを成長させ、将来の進路選択にもつながっていくはずです。

本当の勉強は大学から始まります。大学では、何にどれくらい時間を費やすのかを皆さん自身の意思で決定することができます。常に瑞々しい心で、自らの可能性にチャレンジしましょう。それはきっと皆さんを更に成長させてくれるはずです。

【科目ナンバーとは】

科目の学問分類や学ぶ順序、難易度などを表します。科目ナンバーを理解することで、科目どうしの関連や学修の段階を知ることができます。科目ナンバーとは、卒業までの学修カリキュラム全体の中で自分が今どの段階を学んでいるのか、その道しるべとなるものです。

例) 保育内容総論 MH1211112

大学名	学科名	学年	学期	領域	水準	科目番号	単位数
M	H	1	2	1	1	11	2

大学名	M, S	M＝名古屋短期大学, S＝名古屋短期大学専攻科
学科名	H	H＝保育科, 保育専攻
学年	1,2	1＝1年, 2＝2年
学期	0,1,2	1＝前期, 2＝後期, 0＝前後期にまたがる科目
領域	0,1,2,3,4,5,6,7	0＝教養, 1＝保育の内容・方法, 2＝福祉・心理学・子育て支援, 3＝子どもの保健と安全・乳児保育, 4＝保育学・教職, 5＝実習, 6＝海外の保育, 7＝ゼミナール
水準	(保育科) H0, H1, H2, H3, H4, H5 (保育専攻) S1, S2, S3, S4 ※科目ナンバ ーではアルフ ァベット(Hお よびS)は省略	H0＝短期大学士に相応しい教養を身につける科目 H1＝当該領域（系列）を学修するための基礎・総論的位置付けの科目 H2＝当該領域（系列）の各論。H1の科目の応用的内容を含む科目 H3＝当該領域（系列）の発展的内容の科目 H4＝既習科目を複合させて、学修の集大成として取り組むべき科目 S1＝短期大学での学修を基礎として、研究を遂行するための基本的な知識及び技術を習得する科目 S2＝これまでの学修を土台として、より高度な専門的知見を修得する科目 S3＝学士の学位に相応しく、また保育や教育に関する4年間の積み上げ学修の総まとめとして取り組む科目

現代教養学科

現代教養学科 教育課程表（2025年度入学者）

区分	フィールド	科目 ナンバー	授業科目	開講	必修	選択	卒業 要件	学 年 配 当				
								1年		2年		
								前期	後期	前期	後期	
基礎教養科目		MG10L1L01	キャリアデザインⅠ	2	2		2	○	○			
		MG22L1L02	キャリアデザインⅡ	2	2	2				○		
		MG10L1S01	教養演習Ⅰ	2	2	2	○	○				
		MG20L1S02	教養演習Ⅱ	2	2	2			○	○		
		MG11L1S03	日本語表現A	2	2	2	○					
		MG12L1S04	日本語表現B	2	2	2	○					
		MG11L1S05	コンピュータ演習A	1	1	1	○					
		MG12L1S06	コンピュータ演習B	1	1	1		○				
		MG20L1S07	卒業研究	2	2	2			○	○		
		MG12L2S01	CAD演習	1	1			○				
		MG12L2L01	ITパスポート入門	2	2				○			
		MG22L2S02	ウェブプログラミング	2	2						○	
		MG11L2L02	ビジネスアシスタント概論	2	2			○				
		MG20L2S03	ビジネスコミュニケーション	2	2	7				○	○	
		MG11L2S04	簿記A	2	2			○				
		MG12L2S05	簿記B	2	2				○			
		MG11L2L03	医療実務A	2	2			○				
		MG12L2L04	医療実務B	2	2				○			
心理・人間文化		MG11F1L01	コミュニケーションの心理	2	2		2	○				
		MG12F1L02	カウンセリング入門	2	2				○			
		MG21F1L03	心理学	2	2					○		
		MG22F1L04	人間関係と恋愛の心理	2	2						○	
		MG11F1L05	ポピュラーカルチャー論	2	2			○				
		MG21F1L06	ジェンダーとセクシュアリティ	2	2				○			
		MG21F1S01	身体と表現	1	1				○			
		MG21F1L07	多文化社会論	2	2					○		
		MG22F1L08	日本の文学	2	2						○	
		MG12F1L09	英語圏の文化と文学	2	2				○			
		MG11F2L01	コンピュータ・ネットワーク	2	2			○				
		MG11F2L02	データサイエンス入門	2	2					○		
		MG22F2S01	Excel演習	1	1			○				
		MG22F2S02	ビジネスExcel実践	1	1						○	
		MG21F2S03	Excelプログラミング	1	1					○		
		MG21F2L03	映像メディア論	2	2					○		
		MG21F2L04	SNSとコミュニケーション	2	2					○		
		MG22F2S04	ウェブデザイン	1	1						○	
MG22F2S05	デジタルデザイン	1	1						○			
デジタル・メディア		MG11F3L01	経済学	2	2		2	○				
		MG11F3L02	法学	2	2		2			○		
		MG12F3L03	現代の経営	2	2				○			
		MG22F3L04	マーケティング	2	2						○	
		MG12F3L05	国際経済入門	2	2				○			
		MG12F3L06	ビジネスマナー	2	2					○		
		MG12F3S01	エアライン・ホスピタリティ	2	2					○		
		MG21F3L07	事務管理	2	2						○	
		MG21F3L08	現代の労働法	2	2						○	
		MG11F4P01	みんなのスポーツ	1	1		1	○				
		MG11F4L01	野外活動論	2	2				○			
		MG21F4L02	人間と健康	2	2					○		
		MG21F4L03	運動の科学	2	2						○	
		MG22F4L04	安全な生活と危機管理	2	2						○	
		MG12F4L05	食生活と健康づくり	2	2					○		
		MG21F4L06	福祉スポーツ	2	2						○	
		MG22F4L07	社会福祉概論	2	2						○	
		専門教養科目	韓国	MG11F5S01	韓国語と韓国文化ⅠA	1	1		1			○
MG12F5S02	韓国語と韓国文化ⅠB			1	1		1			○		
MG21F5S03	韓国語と韓国文化ⅡA			1	1		1				○	
MG22F5S04	韓国語と韓国文化ⅡB			1	1		1				○	
MG11F5S05	実用韓国語A			2	2		2					
MG12F5S06	実用韓国語B			2	2		2					
MG11F5P01	K-POPダンス			1	1		1			○		
MG21F5L01	Kカルチャー論			2	2		2				○	
MG21F5L02	K文学			2	2		2				○	
MG22F5L03	韓国社会論			2	2		2				○	
MG99F5P02	韓国研修			2	2		2			○	○	
MG11F6L01	Intensive English A			2	2		2				○	
MG12F6L02	Intensive English B			2	2		2				○	
MG21F6L03	Advanced English A			2	2		2				○	
MG22F6L04	Advanced English B			2	2		2				○	
MG11F6L05	実用英語ⅠA			2	2		2			○		
MG12F6L06	実用英語ⅠB			2	2		2				○	
MG21F6L07	実用英語ⅡA			2	2		2				○	
MG22F6L08	実用英語ⅡB	2	2		2				○			
MG22F6L09	ことばをくらべる	2	2		2				○			
MG21F6L10	ことばのしくみ	2	2		2				○			
外国語		MG11I01S01	中国語と中国文化ⅠA	1	1		1			○		
		MG12I01S02	中国語と中国文化ⅠB	1	1		1				○	
		MG11I01S03	ポルトガル語とブラジル文化ⅠA	1	1		1			○		
		MG12I01S04	ポルトガル語とブラジル文化ⅠB	1	1		1				○	
		MG99O2P01	国内研修	2	2		2			○	○	
		MG99O2P02	海外研修S	1	1		1			○	○	
		MG99O2P03	海外研修M	2	2		2			○	○	
		MG99O2P04	海外研修L	4	4		4			○	○	
		MG19O2P05	NPOインターンシップA	1	1		1			○		
		MG19O2P06	NPOインターンシップB	1	1		1				○	
		MG99O2P07	企業インターンシップS	1	1		1			○	○	
		MG99O2P08	企業インターンシップL	2	2		2			○	○	
		MG99O2P09	病院インターンシップS	1	1		1			○	○	
		MG99O2P10	病院インターンシップL	2	2		2			○	○	
		MG99O2P11	ホテルインターンシップ	2	2		2			○	○	
		MG99O3Z01	キャリア支援	8	8		8			○	○	
		その他		他学科開放指定科目 ※	6	6		6			○	○
			合 計			172	16	156	70			

※他学科開放指定科目は、保育科・英語コミュニケーション学科が指定する授業科目及び桜花学園大学の授業科目の修得単位を6単位まで卒業要件にできる。

現代教養学科 カリキュラムマップ（2025年度入学者）

DP1.「コミュニケーション力」他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える表現力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていく。
 DP2.「専門知識」幅広い分野にわたる知識を身につけ、人間、社会、自然に対する理解を深める。
 DP3.「思考力・判断力」幅広い知識に基づき、より広い視野に立って物事を考え、様々な問題に適切に対応することができる。
 DP4.「行動力」問題に向かって主体的に取り組むことができると同時に、仲間と協働しながら目的に向かって意欲に努力を続けられる。

◎：深い関連がある ○：関連がある

区分	フィールド	科目ナンバ－	授業科目	学 年 配 当				DPに基づく学修指標			
				1年		2年		DP1	DP2	DP3	DP4
				前期	後期	前期	後期				
基礎 教養科目		MG10L1L01	キャリアデザインⅠ	○	○			◎		◎	◎
		MG2L1L02	キャリアデザインⅡ			○			○	○	
		MG10L1S01	教養演習Ⅰ	○	○			◎	○	○	◎
		MG20L1S02	教養演習Ⅱ			○	○	◎	○	○	◎
		MG11L1S03	日本語表現A	○				◎			○
		MG12L1S04	日本語表現B		○			◎		○	
		MG11L1S05	コンピュータ演習A		○			◎			
		MG12L1S06	コンピュータ演習B			○		◎			
		MG20L1S07	卒業研究			○	○	◎		◎	
		MG12L2S01	CAD演習	○					◎	○	
		MG2L2L01	ITパスポート入門		○				◎	○	
		MG2L2S02	ウェブプログラミング						◎		
		MG11L2L02	ビジネスファウンタント概論	○		○					
		MG20L2S03	ビジネスコミュニケーション			○	○		◎	○	
		MG11L2S04	簿記A	○				◎		○	
		MG12L2S05	簿記B		○			◎		○	
		MG11L2L03	医療実務A	○				◎		○	
		MG12L2L04	医療実務B		○			◎		○	
		MG11F1L01	コミュニケーションの心理		○				◎		
		MG12F1L02	カウンセリング入門			○			◎		
		MG21F1L03	心理学			○			◎		
		MG22F1L04	人間関係と恋愛の心理				○		◎		
		MG11F1L05	ポピュラーカルチャー論	○				◎		○	
		MG21F1L06	ジェンダーとセクシュアリティ		○				◎		
		MG21F1S01	身体と表現			○		○			
		MG21F1L07	多文化社会論			○			◎		
		MG22F1L08	日本の文学				○		◎		
		MG12F1L09	英語圏の文化と文学						◎		
専門 教養科目	心理・ 人間文化	MG11F2L01	コンピュータ・ネットワーク	○					◎		
		MG11F2L02	データサイエンス入門	○					◎		
		MG22F2S01	Excel演習						◎		
		MG22F2S02	ビジネスExcel実務						◎		
		MG21F2S03	Excelプログラミング			○			◎		
		MG21F2L03	映像メディア論			○		○		◎	
		MG21F2L04	SNSとコミュニケーション			○		○		◎	
		MG22F2S04	ウェブデザイン				○		◎		
		MG22F2S05	デジタルデザイン				○		◎		
	デジタル・ メディア	MG11F3L01	理学	○							
		MG11F3L02	法学	○							
		MG12F3L03	現代の経営						◎		
		MG22F3L04	マーケティング			○			◎		
		MG12F3L05	国際経済入門		○				◎		
		MG12F3L06	ビジネスマナー		○				◎		
		MG12F3S01	キャリア・ホスピタリティ	○				◎			◎
		MG21F3L07	事務管理		○				◎		
		MG21F3L08	現代の労働法			○			◎		
	ビジネス	MG11F4P01	みんなのスポーツ	○					◎		◎
		MG11F4L01	野外活動論	○					◎		
		MG21F4L02	人間と健康			○			◎		
		MG21F4L03	運動の科学			○			◎		
		MG22F4L04	安全な生活と危機管理			○			◎		
		MG12F4L05	食生活と健康づくり		○				◎		
		MG21F4L06	福祉スポーツ			○			◎		◎
		MG22F4L07	社会福祉概論			○			◎		
		MG11F5S01	韓国語と韓国文化ⅠA	○				○			
韓国		MG12F5S02	韓国語と韓国文化ⅠB		○			◎			
		MG21F5S03	韓国語と韓国文化ⅡA			○		◎			
		MG22F5S04	韓国語と韓国文化ⅡB				○	◎			
		MG11F5S05	実用韓国語A	○				◎			
		MG12F5S06	実用韓国語B		○			◎			
		MG11F5P01	K-POPダンス	○				○			◎
		MG21F5L01	Kカルチャー論			○			◎		
		MG21F5L02	K文学			○			◎		
		MG22F5L03	韓社会論				○		◎		
	コミュニケーション	MG99F5P02	韓国研修	○	(○)	(○)	(○)	◎			◎
		MG11F6L01	Intensive English A					◎			◎
		MG12F6L02	Intensive English B		○			◎			◎
		MG21F6L03	Advanced English A			○			◎		◎
		MG22F6L04	Advanced English B				○	◎			◎
		MG11F6L05	実用英語ⅠA	○				◎			◎
		MG12F6L06	実用英語ⅠB					◎			◎
		MG21F6L07	実用英語ⅡA			○		◎			◎
		MG22F6L08	実用英語ⅡB				○	◎			◎
		MG22F6L09	ことばをくらべる				○		◎		
外国語		MG21F6L10	ことばのしくみ			○			◎		
		MG1101S01	中国語と中国文化ⅠA		○				◎		
		MG1201S02	中国語と中国文化ⅠB			○			◎		
		MG1101S03	ポルトガル語とブラジル文化ⅠA					○	◎		
		MG1201S04	ポルトガル語とブラジル文化ⅠB					○	◎		
	学外 研修	MG9902P01	国内研修	○	(○)	(○)	(○)	◎			◎
		MG9902P02	海外研修S	○	(○)	(○)	(○)	◎			◎
		MG9902P03	海外研修M	○	(○)	(○)	(○)	◎			◎
		MG9902P04	海外研修L	○	(○)	(○)	(○)	◎			◎
		MG1902P05	NPOインターンシップA	○					◎		◎
		MG1902P06	NPOインターンシップB		○				◎		◎
		MG9902P07	企業インターンシップS	○	(○)	(○)	(○)	○			◎
		MG9902P08	企業インターンシップL	○	(○)	(○)	(○)	○			◎
		MG9902P09	病院インターンシップS	○	(○)	(○)	(○)	○			◎
		MG9902P10	病院インターンシップL	○	(○)	(○)	(○)	○			◎
		MG9902P11	ホテルインターンシップ	○	(○)	(○)	(○)	○			◎
		MG9903Z01	キャリア支援	○	○	○	○				
その他			他学科開放指定科目	○	○	○	○	—	—	—	—

現代教養学科 履修系統図（2025年度入学者）

図中の矢印(→)は、示された順に従って受講することが望ましいことを示す

区分	フィールド	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
基礎 教養科目	必修科目	MG10L1L01 キャリアデザインⅠ MG10L1S01 教養演習Ⅰ MG11L1S03 日本語表現A MG11L1S05 コンピュータ演習A	MG12L1S04 日本語表現B MG12L1S06 コンピュータ演習B	MG20L1S02 教養演習Ⅱ MG20L1S07 卒業研究	MG22L1L02 キャリアデザインⅡ
	選択科目	MG12L2S01 CAの演習 MG11L2L02 ビジネスアシスタント概論 MG11L2S04 簿記A MG11L2L03 医療実務A	MG12L2L01 ITパスポート入門 MG12L2S05 簿記B MG12L2L04 医療実務B	MG22L2S02 キャリアプログラミング MG20L2S03 ビジネスコミュニケーション	
専門 教養科目	心理・人間文化	MG11F1L01 コミュニケーションの心理 MG11F1L05 非ビジュアルカルチャー論	MG12F1L02 カンゼンゼンギ入門 MG12F1L09 英語圏の文化と文学	MG21F1L03 心理学 MG21F1L06 ジェンダーとセクシュアリティ MG21F1S01 身体と表現 MG21F1L07 多文化社会論	MG22F1L04 人間関係と恋愛の心理 MG22F1L06 日本の文学
	デジタル・メディア	MG11F2L01 コンピュータ・ネットワーク MG11F2L02 データサイエンス入門 MG22F2S01 Excel演習		MG21F2S03 Excelプログラミング MG21F2L03 映像とメディア論 MG21F2L04 SNSとコミュニケーション	MG22F2S02 ビジネスExcel実戦 MG22F2S04 ウェブデザイン MG22F2S05 デジタルデザイン
	ビジネス	MG11F3L01 経済学 MG11F3L02 法学	MG12F3L03 現代の経営 MG12F3L05 国際経済入門 MG12F3L06 ビジネスマナー MG12F2S01 エアライン・ホスピタリティ	MG21F3L07 業務管理 MG21F3L08 現代の労働法	MG22F3L04 マーケティング
	健康・生活	MG11F4S01 みんなのスポーツ MG11F4L01 野外活動論	MG12F4L05 食生活と健康づくり	MG21F4L02 人間と健康 MG21F4L03 運動の科学 MG21F4L06 運動とスポーツ	MG22F4L04 安全な生活と危機管理 MG22F4L07 社会福祉概論
	韓国	MG11F5S01 韓国語と韓国文化ⅠA MG11F5S05 実用韓国語A MG11F5P01 K-POPダンス MG22F5P02 韓国研究	MG12F5S02 韓国語と韓国文化ⅠB MG12F5S06 実用韓国語B	MG21F5S03 韓国語と韓国文化ⅡA MG21F5L01 Kカルチャー論 MG21F5L02 K文学	MG22F5S04 韓国語と韓国文化ⅡB MG22F5L03 韓国社会論
	英語 コミュニケーション	MG11F6L01 Intensive English A MG11F6L05 実用英語ⅠA	MG12F6L02 Intensive English B MG12F6L06 実用英語ⅠB	MG21F6L03 Advanced English A MG21F6L07 実用英語ⅡA MG21F6L10 ことばの力・くみ	MG22F6L04 Advanced English B MG22F6L08 実用英語ⅡB MG22F6L09 ことばをくらべる
	外国語	MG11C1S01 中国語と中国文化ⅠA MG11C1S03 ポルトガル語とブラジル文化ⅠA	MG12C1S02 中国語と中国文化ⅠB MG12C1S04 ポルトガル語とブラジル文化ⅠB		
学外 研修	海外研修	MS99O2P01 国内研修 MS99O2P02 海外研修S MS99O2P03 海外研修M MS99O2P04 海外研修L MG19O2P05 NPOインターンシップA MS99O2P07 企業インターンシップS MS99O2P08 企業インターンシップL MS99O2P09 病院インターンシップS MS99O2P10 病院インターンシップL MS99O2P11 ホテルインターンシップ	(国内研修) (海外研修S) (海外研修M) (海外研修L) NPOインターンシップB (企業インターンシップS) (企業インターンシップL) (病院インターンシップS) (病院インターンシップL) (ホテルインターンシップ)	(国内研修) (海外研修S) (海外研修M) (海外研修L)	(国内研修) (海外研修S) (海外研修M) (海外研修L)
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
	海外研修				
その他	キャリア支援	MS99O3Z01 キャリア支援	MS99O3Z01 キャリア支援	MS99O3Z01 キャリア支援	MS99O3Z01 キャリア支援

I. 現代教養学科の学び

現代教養学科教育のめざすもの

現代教養学科は、「現代を創造的に生き抜く英知」を育てる学科です。

現代社会の急激な変化にも柔軟かつ的確に対応できる力を培うために、現代の社会人として求められる学問の基礎を身につけ、社会が直面するさまざまな課題や問題点を解決するための専門的教養を養い、豊かな人間形成をめざすのが現代教養学科です。

現代教養学科で2年間しっかり学んで、幅広い分野にわたる知識や情報だけではなく、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力、問題に向かって主体的に取り組むことができると同時に目的に向かって着実に努力を続けられる行動力、他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてより良い人間関係を築いていけるコミュニケーション力をきちんと修得してください。

II. カリキュラムの特色

1. 現代教養学科の特色

A. 豊富な学科科目

現代教養学科の特色は、まずその豊富な学科科目（基礎教養科目、専門教養科目、外国語など）にあります。これらの科目を幅広く学ぶことによって、さまざまな角度から人間を捉えていくための、多様な学問分野の基本的な知識や考え方などを学ぶことができ、より広い視野に立って物事を考えていく力が身につきます。

なお、現代社会にマッチした専門的教養をより明確にするために、また卒業後の進路選択や資格取得を見据えて履修の方向性を明確にするために、「心理・人間文化」、「デジタル・メディア」、「ビジネス」、「健康・生活」、「韓国」、「英語コミュニケーション」の6フィールドに関する科目を用意しています。これらは大きく変貌しつつある現代社会で力強く生き抜くために身につけなければならない重要な知識や情報を学ぶためのキーワードでもあります。

B. 充実したキャリア関連科目

基礎教養科目の「キャリアデザインⅠ」や「キャリアデザインⅡ」では、皆さんが「働いて生きる人生」そのものを自分で選択し切り拓いていく力を身につけるために、社会を知り自分を知るために必要な知識や技能を養い、社会と接点を持つさまざまな企画や講演会、各種就職活動対策講座を通して、皆さんの「キャリアアップ」をサポートします。

専門教養科目には、積極的に自分の将来を切り拓くために必要な科目、とりわけ「現代社会において生き生きと働くため」に必要と思われる科目を多く設定しています。これらは、「働くこと」を通して自分を見つめ社会について考える力を養うと同時に、実社会に出た時に役立つ準備のための実践的な技術を磨くこともできるものです。

幅広く知識・情報を得るための講義系科目の他、実践的な技能・技術や資格を取得し学外研修体験を行う実技・資格・研修系科目を設けています。

また、資格取得や検定受験対策をめざした科目としては、「ビジネスマナー」、「医療実務A／B」、「簿記A／B」、「Excel演習」、「ITパスポート入門」などを開設しています。

C. 自由な科目選択

現代教養学科の特色は、その履修方法にもあります。多様な専門教養科目の中から2年間に何をどのように学んでいくのかは、一人ひとりの問題意識や目標、進路希望によって決めていくことができます。もちろん一定のルールや必修科目（基礎教養科目）はありますが、自由な選択の幅がこれほどある学科は他にあまり例を見ないと思われます。

真の人間教育とは一つの型にはまったものではなく、それぞれの個性を大切に、それぞれの問題意識に基づいた自主的な学修の積み重ねの上になされることを、履修システムの上でも保証するものです。

D. 少人数教育

現代教養学科の教育は、一人ひとりの持つ関心を少人数教育の場である「教養演習」（ゼミ）で学問的なレベルにまで育てていきます。

「ゼミ」は1人の教員と少数の学生で構成されます。1年次には共通のテーマのもと、他人の話を聞き、調べ、討論し、自分のこれからの生き方を考えます。2年次には各自の関心に沿って卒業研究を準備していく中で、1年次に身につけた「学び」の方法をさらに磨き、深め、発展させていきます。

こうしてともに学び、また大学祭等のイベント準備もゼミ単位で行うことから、ゼミは教員や友人とのグループ活動を通じた人間形成の場ともなるのです。高校での教育にはなかったゼミという場の中で、新しい自分を見出し、学び、意見交換することの楽しさを知ってください。

E. 卒業研究

2年次には自分が関心のある分野からゼミを選択し、考えたいテーマについて1年間かけて資料収集及び分析・考察を進め、担当ゼミ教員のもとで卒業研究レポートを完成させます。このレポートは、皆さんにとってこれまでの「学修の総決算」でもあり、学んできたことをいかにまとめるかという総合的な力を試すものになります。

F. きめ細やかな外国語教育

国際化の時代と言われる現代において、外国語は教養の基礎でもあります。コミュニケーションの手段としてはもちろんのこと、異なった文化や社会を理解し、世界の人々とともに生きていく視点を持つためにも、外国語力は今後ますます欠かせないものになるでしょう。英語、ポルトガル語、中国語の他、日本の隣国の韓国の言語と文化を学ぶ科目を設けています。

2. 現代教養学科のカリキュラム

『現代教養学科教育課程表』をご覧ください。ここには、現代教養学科の全ての授業科目が単位数や学年配当などとともに掲載しています。表中では、「基礎教養」、「専門教養」、「外国語」、「学外研修」の科目群の他、キャリア支援、他学科開放指定科目が記載されています。短期大学としては驚くほど多い現代教養学科の学科科目がこれらの科目群に区分されています。

【基礎教養科目群】

この科目群に分類されている科目はどれも現代教養学科の中核となる大切な科目で、必修科目と選択必修科目に分かれています。短期大学で学ぶための基礎を身につけ、みずから考え、発表する場を用意し、そこで得たものをまとめる力を養います。また「ゼミ」は教員や友人との学問的・人間的な交流セッションとなるものです。

<必修科目>

必ず履修して単位を取得しなければなりません。

「キャリアデザインⅠ」 キャリア・スタディや企業・業界研究など社会と接点を持つ企画や講演会等を通して、「働くこと」や「仕事」について具体的に学びます。また、人生設計も視野に入れながら、まずは社会に出る最初の一步、就職活動への準備をしていきます。

「キャリアデザインⅡ」 自分の将来を考える上で参考となる金融教育を中心に、「現代をどのように生きるべきか」を学びます。

「教養演習Ⅰ」 1年次に少人数で行われるゼミナール形式の演習（「ゼミ」）です。
大学での学び方、学生生活の過ごし方を考えたり、自分の生き方を含めた進路についても学んでいきます。

「教養演習Ⅱ」 各自が関心を持つ主題のゼミを選び、そのゼミで学んでいきます。
なお、1年次、2年次いずれのゼミでも、「自ら学ぶ力」やそのために必要な「学び方」を身につける場であり、教員や友人たちとの人間的な交流を図る場であり、かつ実社会に出てからいろいろな価値観を持ち、年齢も異なる周りの人々と一緒にしっかり仕事をしていくための準備をする場でもあります。

「日本語表現A」 日本語で話し、書くための技術を身につけることはお互いを理解するための第一歩です。そのために、基本的な日本語のコミュニケーション能力を修得することを目標とします。

「日本語表現B」 社会人として自己アピールをしたり、プレゼンテーションをしたりすることができるよう、基本的な日本語能力のうえにさらに高度で効果的な情報伝達能力を身につけることを目標とします。

「コンピュータ演習A」 情報化社会を生き抜くうえで必要となるコンピュータの知識、Office系ソフトの操作、インターネットの利用法などについて学びます。

「コンピュータ演習B」 オンライン化した現代社会で必要とされるマナーやテクニックを実践的に学び、オンラインでの就活も想定して準備を進めます。

「卒業研究」 2年次に1年間かけて行います。自分が関心を持つ事柄について資料を集め、自分の考えを織り込みながらレポートをまとめて提出します。それまで身につけた「自ら学ぶ力」や「学び方」を総動員して、担当のゼミ教員の指導のもとにレポートを作成します。書き上げた瞬間、これまで感じたことのないような充実感に包まれるとともに、真の意味での短期大学の「卒業」を実感できると思います。

＜選択必修科目＞

この科目群の中から自分の進路先を見据えた科目やスキルアップを目指したい科目を選択し、7単位以上を修得しなければなりません。いろいろなビジネス場面で役立つスキルを身につけるための科目を設置しています。

【専門教養科目群】

「心理・人間文化」、「デジタル・メディア」、「ビジネス」、「健康・生活」、「韓国」、「英語コミュニケーション」の計6フィールドからなる科目群を用意しています。

これらは全て、大きく変貌しつつある現代社会で力強く生き抜くために身につけなければならない重要な知識や情報を学ぶためのキーワードです。これらの専門教養科目群には、幅広く知識・情報を得るための講義系科目と、実践的な技能・技術や資格を取得し学外研修体験を行う実技・資格・研修系科目を設定しています。

皆さんはみずからが社会でいかに生きていくか、働いていくかを考えて、その目標、進路先を見据えて履修科目を選択することができます。

6フィールドのうちからあらかじめ選択した2つのフィールドにおいて、それぞれ3単位以上、合計12単位以上を修得しなければなりません。

「心理・人間文化」

組織や集団に属する人間の心理や人間関係について理論的かつ具体的に学び、行動の指針や良い対人関係の取り方などを探る科目や人間と社会の関係のあり方を考える上で大切な、人間そのものの知性と能力の働きに関する基礎力を身につけるための科目を開設しています。

「デジタル・メディア」

現代社会におけるインターネットなどを用いたコミュニケーション力や、自己表現力を高めるために学ぶ科目だけではなく、現代の情報化社会でしっかり生き抜くための実践的なコンピュータに関する知識・情報を総合的に学ぶ科目を開設しています。

「ビジネス」

現代の企業のあり方やその経営の仕組みを学ぶとともに、社会に出て働く意義を見つけるために役立つ科目や国際的観点から政治・経済の仕組みや実態を学び、また外国の地域文化やそれを支える人々の暮らしについて学ぶ科目を開設しています。

「健康・生活」

現代人を取り巻くさまざまな健康問題をはじめ、食の安全や新興感染症、増加する生活習慣病への対策、高度化した医療の中での安全対策などの新たな健康課題に対して、みずから考え、社会に働きかけることのできる人材育成を目指すための科目を開設しています。

「韓国」

隣国である韓国の言語だけでなく、グローバルに発信されることで世界的に注目され、その重要性をますます増しつつあるKカルチャーやK文学などを学び、その知識を体験に移す韓国研修科目を夏休み期間に開設しています。

「英語コミュニケーション」

英語によるコミュニケーション力や資格取得など、実用的な英語力の習得をめざすための科目と、英語圏の言語、文化、社会への理解を深め、グローバル化した社会で多様な人々と協働する力を養う科目を開設しています。

外国語科目群

中国語、ポルトガル語について、単にその言語だけでなくその文化についても学べる科目を開設しています。

学外研修科目群

「国内研修」「海外研修」「インターンシップ」

国内の知らない土地で新しい体験をしたり、外国で語学を学びながら異文化の中で生活したりすることを通して、自分自身の生きる力を試みます。積極的に多くの人々と交流しながら、みずから自分の人間的な可能性を切り拓くために必要な貴重な知識や技能、経験を得ることをサポートする科目です。

また、夏季や春季の長期休暇期間に1～2週間程度、実際に企業やNPO法人で実務を体験する「企業インターンシップ」、「ホテルインターンシップ」、「病院インターンシップ」や「NPOインターンシップA/B」の学外研修体験を行う科目も開設しています。なお、「企業インターンシップ」、「病院インターンシップ」では研修期間に応じて1週間型（S）と2週間型（L）があります。

一方、自主研修科目として、皆さんがみずから企画しさまざまな体験を自由に行う「国内研修」と「海外研修」を開設しています。

これらの幅広いキャリア関連科目を積極的に学び、多くの講座にチャレンジしながら、自分の可能性を自分の力で切り拓いていきましょう。

なお、「国内研修」は2単位、「海外研修」は1～4単位、「インターンシップ」は1～2単位を卒業要件単位に含めることができます。

その他

「キャリア支援」

資格・検定などを取得してから申請することで単位を認定する形態の授業です。認定対象の時期は、原則として大学などの在学中に取得したものだけとなります。自分の視野や展望を広げるための重要な機会として活用してください。指定された資格・検定などの合格証を根拠にして、その難易度に応じた単位数の認定をします。認定単位数の上限は8単位までとなります。なお、認定された単位は通常の成績評価とは異なり、GPAの算入対象ではありません（指定された資格・検定などは掲示板を参照してください）。

「他学科開放指定科目」

同じ名古屋短期大学の他学科（保育科、英語コミュニケーション学科）が開設している授業科目や桜花学園大学の授業科目を受講して修得した単位を6単位まで卒業要件単位に含めることができます。

Ⅲ. 履修計画のために

現代教養学科のカリキュラムは、学生個人の知的な関心と自主性を最大限に尊重し、なおかつ現代社会をテーマにして、積極的に生きるために必要な教養を基本的に自由に、しかも将来の進路を見据えて集中的に学べるように工夫しています。

あとは、皆さんの意欲次第です。短期大学生活は、2年間という本当に短い期間です。その間にできるだけたくさんの科目を履修して幅広く学んで、これまでと違う、新しくて深みのある積極的に生きる皆さん自身を創りあげていきましょう。

【科目ナンバーとは】

科目の学問分類や学ぶ順序、難易度などを表します。科目ナンバーを理解することで、科目どうしの関連や学修の段階を知ることができます。科目ナンバーとは、卒業までの学修カリキュラム全体の中で自分が今どの段階を学んでいるのか、その道しるべとなるものです。

例) コミュニケーションの心理 MG11FIL01

大学名	学科名	学年	学期	大分類	中分類	小分類	科目番号
M	G	1	1	F	1	L	01

大学名	M	M=名古屋短期大学
学科名	G	G=現代教養学科
学年	1, 2, 9	1=1年, 2=2年, 9=1・2年共通
学期	0, 1, 2, 9	0=通年, 1=前期, 2=後期, 9=集中

大分類（履修モデル）		中分類（領域）		小分類（科目形態）		科目番号
基礎教養科目	L	必修科目	1	講義 演習 実習／実技 その他	L S P Z	01～99
		選択必修科目	2			
専門教養科目	F	心理・人間文化	1			
		デジタル・メディア	2			
		ビジネス	3			
		健康・生活	4			
		韓国	5			
		英語コミュニケーション	6			
外国語	0	共通	1			
学外研修	0	共通	2			
その他	0	共通	3			

専攻科保育専攻

専攻科保育専攻教育課程表

2025年度入学者適用

学位審査基準の要件		授 業 科 目	単位	学年配当				必修	選択	修了要件単位	科目ナンバー
				1 年		2 年					
				前	後	前	後				
関連科目	基礎科目	ことばの世界	2			○			2		SH2111152
		ジェンダー論	2			○			2		SH2101112
専攻外科目		環境の科学	2		○				2		SH1212132
		専攻科ゼミナールA	1	○				1		1	SH1171141
		専攻科ゼミナールB	1		○			1		1	SH1271151
		専攻科ゼミナールC	1			○		1		1	SH2171141
		専攻科ゼミナールD	1				○	1		1	SH2272151
		English for Children I	2			○			2		SH2162122
English for Children II		2				○		2		SH2262132	
小 計		14					4	10	4		
専門科目	保育研究法	保育研究法Ⅰ	2	○				2		2	SH1171122
		保育研究法Ⅱ	2		○			2		2	SH1272122
関連科目	保育	保育の理論と実践Ⅰ	2	○				2		2	SH1141122
		保育の理論と実践Ⅱ	2		○			2		2	SH1242122
専門科目	保育	障害児福祉特論	2	○					2	8	SH1121112
関連科目		教育原理特論	2				○		2		SH2241132
関連科目	多文化共生研究特論（非開講）	2			○			2	SH2161112		
専門科目	特論	発達心理学特論	2			○			2		SH2221132
		保育者特論	2				○		2		SH2241112
		幼児と環境特論	1			○			1		SH2212121
		幼児と言葉特論	1			○			1		SH2112141
		乳児保育特論	2	○					2		SH1242112
専門科目	保育特演	保育内容特演（環境）	2				○		2	8	SH2211132
		保育内容特演（言葉）	2				○		2		SH2211142
		幼児音楽特演Ⅰ	1			○			1		SH2211171
		幼児音楽特演Ⅱ	1				○		1		SH2212161
		幼児造形特演Ⅰ	1			○			1		SH2111161
		幼児造形特演Ⅱ	1				○		1		SH2112151
		幼児体育特演Ⅰ	1			○			1		SH2111121
		幼児体育特演Ⅱ	1				○		1		SH2112111
関連科目	専門科目	情報処理特演	2	○					2	10	SH1101122
保育内容総論特演		2			○			2	SH2111112		
子育て支援特演		2	○					2	SH1121122		
	保育特別実習	保育特別実習	6	○	○			6	8	SH1052116	
		保育特別実習指導	4	○	○			4		SH1051114	
学修総まとめ科目	保育特別研究	学修総まとめの基礎Ⅰ	2	○				2	8	SH1171132	
		学修総まとめの基礎Ⅱ	2		○			2		SH1272132	
		学修総まとめ	4			○	○	4		SH2073114	
小 計		56					26	30	42		
		70					30	40	46		

<学位(教育学)審査基準の要件>

- ①認定専攻科で修得した全ての科目【専門科目＋関連科目＋専攻科外科目＋学修総まとめ科目】62単位以上
- ②認定専攻科で修得した単位：専門科目（学修総まとめ科目を除く）＋関連科目40単位以上
- ③認定専攻科で修得した単位：専門科目（学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む）31単位以上
- ④本科及び認定専攻科で修得した単位：【専門科目（学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む）＋関連科目】62単位以上
- ⑤本科及び認定専攻科で修得した単位：専門科目以外（≧24単位）
- ⑥本科及び認定専攻科で修得した単位：外国語の単位（必ず含む）

保育専攻DPと科目の対応表

区分	授 業 科 目	HSDP1	HSDP2	HSDP3	HSDP4
		知識・技能	行動力	省察力	協働力
基礎科目	ことばの世界		○		◎
	ジェンダー論		○		◎
	環境の科学		○		◎
	専攻科ゼミナールA	◎	◎	◎	◎
	専攻科ゼミナールB	◎	◎	◎	◎
	専攻科ゼミナールC	◎	◎	◎	◎
	専攻科ゼミナールD	◎	◎	◎	◎
	English for Children I		○		◎
保育研究法	保育研究法 I	◎	◎		○
	保育研究法 II	◎	◎		○
保育特論	保育の理論と実践 I	◎	◎	◎	◎
	保育の理論と実践 II	◎	◎	◎	◎
	障害児福祉特論	◎		○	○
	教育原理特論	◎		○	
	多文化共生研究特論	◎			○
	発達心理学特論	◎		○	
	保育者特論	◎		○	
	幼児と環境特論	◎		○	
	幼児と言葉特論	◎		○	
	乳児保育特論	◎		○	
保育特演	保育内容特演（環境）	◎	○	◎	
	保育内容特演（言葉）	◎	○	◎	
	幼児音楽特演 I	◎		◎	○
	幼児音楽特演 II	◎		◎	○
	幼児造形特演 I	◎	○	◎	
	幼児造形特演 II	◎	○	◎	
	幼児体育特演 I	◎		○	◎
	幼児体育特演 II	◎		○	◎
	情報処理特演	◎	○		○
	保育内容総論特演	◎		◎	○
保育特別実習	保育特別実習	◎	◎	◎	◎
	保育特別実習指導	◎	◎	◎	◎
保育特別研究	学修総まとめの基礎 I	◎	◎	◎	
	学修総まとめの基礎 II	◎	◎	◎	
	学修総まとめ	◎	◎	◎	

保育専攻のディプロマ・ポリシー

専攻科保育専攻は、保育に関する一層の専門的力を養い、時代の要請に応えられる保育者の養成並びに幼児教育の有資格者に対するリカレント教育を行うことを教育目的としている。この目的を踏まえて編成された教育課程を通して所定の単位を取得し、以下に示す「知識・技術」、「行動力」、「省察力」、「協働力」を身につけた者に修了を認定する。さらに、所定の単位を取得し、大学改革支援・学位授与機構の審査を経ることで学士(教育学)の学位が授与される。

HSDP1.[知識・技能]教育・保育・福祉・子育て支援の本質について、保育実践に基づく知識と技能を有している。

HSDP2.[行動力]自己を客観的に評価し、課題解決に向けて前向きな態度で行動することができる。

HSDP3.[省察力]自分や自分たちの保育実践を俯瞰的に見つめ、省察・改善に努めることができる。

HSDP4.[協働性]グローバルな視野を持ち、社会的ニーズを積極的にとらえながら、さまざまな分野・立場の人と連携協働して社会に貢献することができる。

◎:強く関係する

○:関係する

I. 保育専攻の学び

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構特例適用認定専攻科として、保育者養成の今日的課題である保育サービスの多様化と高度化に対応し、学士（教育学）の学位及び幼稚園教諭1種免許状の取得ができるよう、時代の要請に応えるカリキュラムとして、次のような特色を持たせています。

II. カリキュラムの特色

① 自律的研究心の育成

時代の変化に対応して、保育者は不断に学習していく資質が求められています。そして自らの努力で、主体的に保育者としての力量を開発していくことが望まれます。本学のカリキュラムは、こうした1人ひとりの主体的な学習や研究を援助しうるよう構造化がはかられています。少人数教育や演習科目の比重を高め、「保育研究法Ⅰ、Ⅱ」をはじめ「保育特別実習」「学修総まとめ」などの科目を有機的に関連づけて配置したことからもそのことは具体化されています。

② 理論と実践の統一

「保育学」は、極めて実践的な学問であり、保育現場で実際に行われている様々な実践から多くのことを学ばなければなりません。その意味で、ほぼ1年間を通して展開される「保育特別実習」は本学専攻科固有の特色ある授業科目といえます。さらに「保育研究法Ⅰ、Ⅱ」や専攻科のそれぞれの授業科目において、学生が実習で得た様々な経験を対象化して、それを多面的に検討するなかで保育の学習はさらに深まっていきます。加えて「相談室」の諸活動に関わることで理論を実践に結びつける経験を積むことができます。

③ 学習の深化と総合化の保障

「保育内容特演Ⅰ、Ⅱ」では保育の個々の課題について問題別、分野別により深く学ぶことが保障されています。「学修総まとめ」は、学生の問題意識、関心に則して、専攻科での学習を総合化することが課題とされ、担当教員による個別的な指導を系統的に受けることが出来ます。

④ 保育分野における今日的課題への対応

「子育て支援特演」、「保育の理論と実践Ⅰ、Ⅱ」や「発達心理学特論」などの保育の今日的課題に応える科目を開講しています。これは、保育や子ども達を取り巻く社会的環境が大きく変わろうとしている現在の保育情勢にいち早く対応し、将来の保育に対する認識を深めるためのものです。

⑤ 学士（教育学）と幼稚園教諭1種免許状の取得

専攻科のカリキュラムでは、1年次に集中的に実習・研修を配置し、2年次には「学修総まとめ」への専念と、学位授与機構から学士（教育学）の学位授与を得るために必要な授業科目について、履修が可能となるように授業科目の学年配当に十分な配慮がされています。

名古屋短期大学 専攻科 保育専攻 保育特別実習とは

1. 保育特別実習の目的と基本的姿勢

【目的】

専攻科における実習は、すでに資格や免許を取得した立場で保育実践を深め、保育の実践力を身につけるために行う。加えて、長期の実習を通して、保育者としての専門性について考え、保育に対する研究の目を養うようにする。

【実習に対する専攻科の基本的姿勢】

専攻科はすべての実習において、実習先の園や施設に所属する子どもの最善の利益を尊重するものとする。また実習に際しては、各実習先への過度の負担を避け、かつ実習生が最大限の学びを得ることができるように尽力するものとする。

2. 実習期間・日数・時間

【実習期間】

実習期間は、原則として、専攻科1年次において専攻科委員会より示された時期に実施し、単年度で終了する。その他、実習期間に関して、特別の判断を要する場合については、専攻科委員会で審議これを決定する。

【実習日数・実習時間】

実習日数と実習時間は以下の通りとする。

実習日数は、40日間以上とする。

実習時間は、1日あたり8時間の実習を基本として320時間以上とする。

3. 事前・事後指導

【実習における事前・事後指導の位置付け】

専攻科における実習の事前・事後指導は、実習における基礎的な準備や心構えをする場であると同時に、実習の成果を継続的に積み上げることを目的としている。したがって、実習の実施を希望する者は実習に対応した事前・事後指導を受けなければならない。

【実習に対応する事前・事後指導】

専攻科保育専攻の実習に対応する事前・事後指導は、正課の授業として実施するほか、必要に応じて個別の指導等も実施する。

【事前・事後指導の欠席】

全ての事前・事後指導の欠席は原則として認めない。やむを得ない事情がある場合は、事前に授業担当教員へ連絡し、授業担当教員の許可を得ること。指導当日に病気等急な事情が発生した場合は速やかに授業担当教員へ連絡し、指示を受けるものとする。

【事前・事後指導における態度等不良への対応】

専攻科保育専攻における事前・事後指導の重要性に鑑み、授業における態度等の不良や提出物の提出遅滞、および前条に規定する欠席手続きの不遵守などが認められる実習生については、事前・事後指導を担当する教員が個別に面談・指導等を行う。その後も、態度等に改善が認められない場合、該当する実習を許可しないことや実習を中止することがある。

4. 実習を許可する条件等

【実習を許可する条件】

実習は、以下の要件を満たした場合に限り許可される。

- (1) 専攻科委員会で決められた日までに実習先が決定していること
- (2) 実習に課される事前指導が完了していること
- (3) 実習に必要な書類の提出が完了していること
- (4) 実習に支障が出るような健康上および生活上の問題がないこと
- (5) 保育士資格・幼稚園教諭免許状のうちいずれか、または両方を取得している者

保育士資格・幼稚園教諭免許状の両方未取得していない場合は、いずれかを取得した後に実習を行うことができる

その他、実習の許可に関して、特別の判断を要する場合については、専攻科委員会で審議しこれを決定する。

【実習を欠勤した場合の取扱い】

実習は決められた期間に所定の時間数行うことを原則とする。怪我や疾病など、やむを得ない事由で実習を欠勤した場合については、直ちに所定の手続きを取らなければならない。

実習園・施設に申し出て、許可が出た場合にのみ、当該園・施設において欠席した日時分の実習を補充することができる。補充実習時の専攻科の授業は欠席としてこれを扱うものとする。当該園・施設において実習の補充が許可されない場合の対応については、専攻科委員会で協議しこれを決定する。

【実習の延期、取り止め】

実習の延期、取り止めとはそれぞれ次の事を指す。

(1) 実習の延期

実習の延期とは、当該実習の開始前に、怪我や疾病などの要因により、予定されていた期間に実習を実施しないことを指す。実習生本人からの申し出を専攻科委員会で確認し、その結果を実習生本人に通知するものとする。

なお、延期事由が解消され、実習生から実習実施の希望があった場合、専攻科委員会は実習の実施時期や、実習園・施設についてこれを決定し、その結果を実習生本人に通知するものとする。

(2) 実習の取り止め

実習の取り止めとは、当該実習の開始前に、主に実習の許可条件を満たさない等の理由により実習を許可するに至らず、予定されていた期間に実習を実施しないことを指す。

専攻科委員会の協議を経て決定し、その結果を実習生本人に通知するものとする。

【実習の停止、中止】

実習の停止、中止とはそれぞれ次の事を指す。

(1) 実習の停止

実習の停止とは、すでに当該実習が開始している状態において、実習態度の不良や疾病、怪我などの事由により、相当の期間実習を行わないことを指す。専攻科委員会の議を経てこれを決定し、学生本人に通知するとともに、併せて実習園・施設に連絡するものとする。

停止事由が解消され、実習園・施設の許可が出た場合にのみ実習が再開され、また停止していた期間分を補充することができる。実習園・施設において実習の補充が許可されない場合の対応は、専攻科委員会で協議し決定する。なお、補充実習時の授業は欠席としてこれを扱うものとする。

(2) 実習の中止

実習の中止とは、すでに当該実習が開始している状態において、実習態度の不良などによりこれを取り止めることを指す。専攻科委員会の協議を経て決定し、実習生本人に通知し、併せて実習園・施設に連絡するとともに記録等の書類の一切を回収するものとする。

なお、中止の場合は停止と異なり再開や補充は認められない。

【追実習、再実習】

先述の「実習の停止」が発生した場合において、停止期間の長さ等により実習の再開および補充が不可能であるとされた場合には、追実習を行うことができる。専攻科委員会は当該追実習の可否について協議し、その結果を実習生本人に通知するものとする。

なお、追実習時の専攻科の授業は欠席としてこれを扱うものとする。

先述の「実習の取り止め」および「実習の中止」、および実習単位の修得に対して「不可」の判定が出た場合には、再実習を行うことができる。専攻科委員会は当該再実習の可否について協議し、その結果を実習生本人に通知するものとする。

なお、すべての再実習に際しては、原則として当該実習の事前指導をもう一度初めから履修し、これを完了しなければならない。なお、再実習時の授業は欠席としてこれを扱うものとする。

5. その他

【実習に関する事項の決定】

専攻科の実習に関する事項はすべて、原則として専攻科委員会の議を経た上で決定される。なお、

必要に応じて、名古屋短期大学教務委員会、名古屋短期大学教授会、名古屋短期大学学長の承認を得るものとする。